

令和2年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470801182	事業の開始年月日	平成18年1月11日
		指定年月日	平成18年1月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター富岡東		
所在地	(〒236-0017) 神奈川県横浜市金沢区富岡東4丁目19番2号		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年10月20日	評価結果 市町村受理日	令和3年2月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

建物周辺は公園等が多く、静かな環境で四季折々に変化を感じながら日々の買い物や散歩に出掛け気分転換を図って頂いている。  
広い居室や職員と一緒に調理準備ができるアイランドキッチンを設置している。  
医療連携体制加算を取得し、訪問看護師と連携して健康管理を行っている。  
体調を確認しながら毎日体操を行い、体力維持を図っている。  
町内会の盆踊りに参加したり、子供神輿の来所、地域の行事に参加など交流も行って  
いる。近隣の保育園との交流、中学校の福祉体験学習や高校の実習の受入れも行って  
いる。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下ビル9階		
訪問調査日	令和2年11月10日	評価機関 評価決定日	令和2年12月30日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<b>【事業所の概要】</b> ニチイケアセンター富岡東は、京急本線京急富岡駅から徒歩15分で、富岡・長浜風致地区の一角にあり、富岡八幡公園に隣接している緑豊かな立地である。建物は2階建ての2階部分となるが、1階部分が通所介護事業所となっており全体的に広々とした造りで、リビングも広く利用者は思い思いの時間を過ごすことが出来ている。 <b>【個々の利用者に応じたケアの徹底】</b> 管理者と職員は入居時のアセスメントの重要性を認識し、徹底的に利用者の「生活史」等を理解することに努めている。その上で、入居後も利用者に対して積極的な姿勢で関わりを持ち、利用者の状況、出来ることや思いの把握を行い、個々のケアを実施している。一例として、食事水分も摂取出来なくなり、ターミナルケアも検討される状態となった利用者に対して多くの職員が関り、重点的な対応を行った事で、今ではしっかりと食事が摂れるようになった事例がある。 <b>【コミュニケーションを大切に作るホーム】</b> 利用者や職員が、思いを伝えあうことが大切と考え、コミュニケーションを重視している。それは管理者と職員、職員同士も同様である。管理者は職員の意見・要望を否定せず実現するにはどうすれば良いかを双方で考えるようにしている。職員間でも日々のケアを十分なものとするためホワイトボードや連絡ノートを活用し、密なコミュニケーションを図っている。
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	ニチイケアセンター富岡東
ユニット名	潮さい

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

事業所名	ニチイケアセンター富岡東
ユニット名	なぎさ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関口やユニット内、事務所に基本理念を置き、理念のもとに働き、実現に向けて取り組んでいる。	理念は開所時に法人理念に沿って作成されたもので、14年間の積み重ねにより骨子を職員が理解していると管理者は考えている。一方、管理者はホームを利用者から「ここは私の家」と言ってもらうことを目標としており職員にも日々その考えを伝え、共有している。	検討している理念の見直しについて、「全ての利用者から『ここが私の家』と言って頂ける事業所を目指す」という全職員の思いが分かりやすい言葉で表現されることを期待します。また、その理念が一日も早く達成されることも期待します。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年は町内会の行事にも参加していたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまっている状況です。	富岡東部町内会に加入している。今年1月までは、保育園児が来所し、中学校の職場体験を受け入れ、地域の餅つきに参加し、地域との交流も出来ていた。1月以降は新型コロナ対策上、外出出来なくなり交流は中止せざるを得ない状況である。また、ボランティアの来所も中止にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	例年、中学・高校の職場体験の受入れを行っているが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまっている状況です。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまっている状況です。	今年1月まで開催していた。出席者は町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族となっている。会議ではホームより活動報告を行い、その後は出席者間で地域行事、ボランティアの活用、1階の通所介護事業所の活動内容についての意見交換を行っている。現在は中止とし、年度末に今年度のまとめとして状況報告書を行政を含め出席者に送付することとしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員を導入 金沢区グループホーム連絡会に入会しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまっている状況です。	金沢区グループホーム連絡会は10月から活動を再開し、いくつかの事業所とはメールや電話で情報交換を行っている。介護相談員の来所については、今年度に入ってから中止している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い、理解を深めている。身体拘束廃止委員会を設置しており、検討内容等を毎月のミーティング時に職員間に周知している。	現在、拘束に該当する事象はない。身体拘束廃止委員会を毎月開催し、拘束につながる芽を摘むことが大切であることを職員間で共有している。玄関は夜間は防犯上施錠しているが、日中はユニット出入り口も含め開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い、理解を深めている。身体拘束廃止委員会で虐待についてもチェックしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて制度を活用できるように説明している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に不安や疑問が解消されるように細かく説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情対応について説明し、重要事項説明書にも当社以外の窓口を記載している。法人の顧客満足度調査により苦情や意見を頂き、改善できるように努めている。	「ほほえみ通信」を年4回発行している。また、ホームページの「施設便り」でも毎月の様子を伝え、家族から好評である。7月からオンライン面会を開始し、月間で6家族程度が利用している。10月の厚労省事務連絡を受け、時間等の制限付きではあるが面会緩和を行うこととし、家族に希望日を問い合わせ中である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや申し送り時などに意見を聴き、反映可能なものは検討し実現できるようにしている。	職員の意見はリーダー会議とユニット会議で聞いている。管理者は現場での情報収集を大切にして、職員が意見を言いやすいように否定しない姿勢を取っている。最近では面会緩和時期についての意見が多かった。また、職員と相談の上、毎月ユニット毎に目標を設定している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度を設けて、個々が目標を持って働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修への参加や外部研修の案内を掲示し参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	金沢区グループホーム連絡会に参加して、情報収集及び交流を深めているが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまう事が多い状況です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを兼ねて傾聴しながら、その人柄を知る努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に要望や心配事などを聞き、些細な事でも相談できるような関係作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分にアセスメントをしたうえで、対応可能なサービス提案が出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	様々なことを一緒に行ったり、本人が得意な事を職員が教わったりしながら、共に過ごす時間を大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来所された時に話を聴き、意見・要望を取り入れた計画作成を心掛けている。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で電話などで聞き取りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等が来訪された際は、再訪して頂けるように歓迎の意を表すよう努めている。現在は新型コロナウイルス感染症の影響で控えて頂いている状況です。	知人・友人の来所時は居室、リビングで面談してもらい、湯茶でもてなしている。その際、職員は一度手を止めて来客者の目を見て挨拶することを励行している。書道、茶道の趣味を継続している利用者には先生役になってもらい、他の利用者も一緒に楽しむようにしている。また、利用者が昔作ったパッチワークや刺繍の作品を利用者間で鑑賞し、色合いやデザインを話題としてコミュニケーションに一役かっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、交流が図れるように声かけを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談などが出来る事を説明している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者志向の理念のもと、コミュニケーションを取ったり、本人の希望や意向が把握出来るように努めている。	入居前のアセスメントを重要視するとともに日常の会話からも思いを把握している。職員が積極的に話しかけることで、その声かけに応じてくれる利用者が多くなり、ホーム内に笑顔が増え、賑やかになってきている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、情報収集を行うことで本人にとって、より良い生活が出来るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録により24時間の生活リズムを知り、把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、情報収集・共有をし介護計画に活かしている。	入居時に一時的なプランを作成し、その後1か月程度で本プランに移行している。短期目標は半年、長期は1年で見直しているが、利用者の状況次第で随時見直している。日々の介護記録にケアプランのサービス内容を青字、医療関連は赤字で記入し、見やすくしている。モニタリングは月に1度開催するユニット会議時に実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫についてはその場で話し合いを行い、情報を共有し見直しを行うようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の多機能性を活かしたトータルケアの対応が可能のため、家族の要望に対応できるよう連携を取りながら行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年保育園や中高などの学校、町内会との繋がりを大切にし、生活を活性化できるように努めているが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で控えている現状です。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医以外の通院の際は本人の様子を家族及び往診医に報告している。	内科は全員が協力医療機関の往診を受診している。各ユニット隔週1回の往診があるため、往診医は毎週来所している。歯科医の往診も同様で、訪問看護師は毎週来所し健康管理をしている。新型コロナ対策上、緊急時以外通院は行わない方針としている。脳外科のかかりつけ医がいる利用者も、現在は通院していない。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の来訪時に相談にのってもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーを制作し、病院に行ったり、電話にて情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医と家族と三者面談を行い対応を検討している。	入居時に「重度化した場合における対応に係る指針」を説明し、同意を頂いている。現在、ターミナルケアを「看取り介護計画書」に基づき行っている利用者が1名いる。管理者が用意したエンゼルケアも含めたマニュアルを基に毎年研修を実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を行っている。 マニュアルはいつでも閲覧出来るようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害時マニュアルはいつでも閲覧できるようにしている。 地元消防署の協力のもと避難訓練を行っている。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で小規模な自衛訓練になっている。	新型コロナ対策上、自主訓練を9月に実施した。来年3月には消防署参加の防災訓練を予定している。オール電化のホームなので自家発電機の導入を法人と協議中だが、万が一に備え、カセットコンロを準備している。水・食料は法人の提供により3日分確保し、回転備蓄している。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声かけを工夫したり、見守りをしている。	職員の積極的な語り掛けにより、利用者とのコミュニケーションが円滑となり、利用者間でのトラブルもなくなった。トイレ誘導の際には、利用者毎に掛ける言葉をかえる工夫をしている。排泄時のタオル掛け等、羞恥心に配慮したケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を尊重し支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースを尊重し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の選択を尊重している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	得意分野を活かしながら、準備や片付けを一緒に行っている。	6月から主菜の6割程度が配食業者からの供給となったが、副菜は料理の得意な利用者も多いのでホームで職員と一緒に調理している。また、12月のクリスマス会と誕生日会でもケーキを含めて腕を振るってもらうことにしている。今後も利用者参加型の調理を増やすことにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	拒否が見られるときは無理強いはせず、時間を空けたり、好みの物に変更したり工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ケアを行っている。 訪問歯科に指導いただき活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し適宜誘導している。	「排泄チェック表」に頼らなくても利用者の様子をしっかりと把握し、声掛けも行えるレベルになったと判断し、「排泄チェック表」を7月から廃止した。排泄記録は「介護記録」に残している。夜間も体力維持のため、睡眠を優先する方や、失禁を回避するため定時誘導を行う方もいるなど、利用者本位の対応を行っている。職員の排泄への意識の高まりによりリハビリパンツから布パンツに改善した利用者が数名いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物を工夫するなど予防を行っている。医療機関と連携し改善できるよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者の意向に合わせ、無理強いはしていない。気分良く入浴していただけるよう支援している。	一日午前2名、午後2名の入浴を原則とし、月に10回程度の頻度となっている。お湯は一人ずつ交換し、好みの入浴剤を使用している。管理者は入浴回数を更に増やしたいと考えており、人手の課題をどのように解決するかを検討中である。浴室内や脱衣所は床暖房やヒーターでヒートショック対策をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の希望に沿っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の説明書ファイルをいつでも確認できるようにしている。必ず最新の物に更新している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味を楽しんで頂いたり、得意なことを活かせるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や入居者様の体調に合わせてスタッフと一緒にしている。現在、新型コロナウイルス感染症対策のため控えている状況です。	以前は、隣接する富岡八幡公園に散歩に出掛け、近隣のスーパーマーケットにも買い物に外出していた。新型コロナ対策で現在は通所介護事業所が休日の日曜日に敷地内の散歩を行い、それ以外はベランダでの日光浴を行っている。また、ホーム内でのレクリエーションを増やすなど、様々な方法で気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	使いたい時にお渡ししている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望であることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快感が無いように、環境を整えている。	利用者は明るく広いリビングに並べられたソファで寛いでいる。壁には利用者みんなで作った貼り絵のコスモス畑や柿の木などの大作が毎月飾られており、これはホームページでも紹介されている。温湿度はエアコン、床暖房、加湿器で調整し、換気にも留意している。業者による年2回のワックス掛けの日は通所介護事業所も含めた合同レクリエーションだったが、今は小グループに分かれて楽しんでいる。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室を行き来する入居者様もいる。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具・小物・写真を持ってきてもらい、居心地よく暮らせるように工夫している。	エアコン、照明器具、クローゼット、洗面台、カーテンが備え付けで、ベッドは介護ベッド貸与も可能となっている。利用者は使い慣れた家具の他、書道、刺繍の作品、茶道具や仏壇を持ち込んだり、壁面に写真を飾ったりして思い思いの生活を楽しんでいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援を前提に分かりやすい表示をし、混乱を防ぐような環境作りを行っている。			

# 目 標 達 成 計 画

事業所名

ニケイアピタ - 富岡東

作成日

2021年 1月 29日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念が設立当初から変わっていない。	分かりやすい言葉を使ってスタッフ全員のことを新しい理念としていく。	ミーティング等で議題としてスタッフみんなに話し合い新しい理念を定めていく。 「ここが私の家」をキーワードとす。	3ヶ月
2	10	ご家族様からの不満点として「何を食べているか分からない」「普段何をしているか分からない」といった意見が少数ながら存在している。	少数意見でも可能な限り不満点は取り除いていく。	季刊「ほほえみ通信」と毎月更新の「施設便り」に食事の写真や普段の様子の写真を載せていく。 ご家族様に施設便り等の周知を再度行う。	3ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。